

# 図書館報

Kyushu International University Library Bulletin

vol.  
23



## Contents

- 新・前図書館長からのメッセージ ..... P.2
- 図書館Infomation
- 新・前図書館事務室長からのメッセージ ..... P.3
- 図書館視聴覚資料利用ランキング
- 本学教員著書の紹介 ..... P.4

# 新・前図書館長からのメッセージ

## 勉学の心得



図書館長

山田 信一

新しく図書館長になりました山田です。

私が大学の教養課程にいたときは、建物の外ではまだ紛争が続いていましたが、毎日開架室に通っていた記憶があります。外からは学生や機動隊のマイクロフォンの大声がたまに漏れ聞こえますが、図書館の中では案

外静かに読書できました。当初は指定図書を読み終わると、次に関連図書を読むという読書スタイルでした。

1年生当時は文化人類学に惹かれていたので、『金枝篇』や『悲しき熱帯』などを読みました。しかし、2年生になると次第に経済学に興味を持つようになりました。そこで背伸びして『資本論』全3巻を読み通すことにしました。何のこともやら分らないので、専門課程の参考図書から宮川や宇野の全集などもすべて読みました。サークルの先輩たちは、議論好きな割に下宿部屋には内田義彦の『資本論の世界』しかおいていない状況でしたので、理論武装して論破したいというわけです。とにかく、一つの原典にも実に多くの解釈があるものだなと感じました。

学生の皆さん、講義には理論武装して臨みましょう。学生も教師も、ともに新鮮な雰囲気味わえるのではないのでしょうか。

『資本論』カール・マルクス 3階一般図書 331.6/Ma/1-3  
『資本論の世界』内田義彦 3階一般図書 081/1/614または331.6/U

## 本ながめる楽しみと疲れ



大学院企業政策研究科長  
前図書館長

西堀 喜久夫

研究者にとって図書館は、必須の情報センターといってもよいでしょう。

最近では、インターネットの普及で、検索して論文を手に入れることが多くなりました

が、それまでは図書館でした。

41歳で大学院修士に入学し、修士論文の作成のために図書館の書庫に入り文献や資料を探しました。ひとつ一つ一人いない書庫に入り、関連の場所に行くとそれこそ山のような文献が整理されていて、小生のいた大学経済学部では、地下通路でさらに古い書庫もあり、貴重本が沢山ありました。

いつの間にか、本来の目的を忘れ、面白そうなタイトルの本や雑誌を見ていると、あっという間に4~5時間が過ぎて、あわてて研究室に戻るとということがしばしば、でした。研究室に戻ると、どっと疲れが出て、しばらくはボーとしている状態でした。

考えてみると、中学校時代に宿題を忘れて、教室の後ろに立たされても50分です。自分の好きなことのためとはいえ、4時間も立っているのですから、疲れるのは当たり前でしょう。しかし、楽しいことだと気にならないのですから、人間は面白いものです。

## 図書館Information

4月中旬から6月上旬に、新入生対象のガイダンスを行いました。



検索方法の説明



館内見学ツアー

## 図書館利用ガイダンス&図書館業務見学を行いました。



業務見学



図書館の説明

6/22に  
本学図書館学課程の学生が  
業務見学を行いました。

## NEW! 平成21年度 新規購入雑誌

☆は購入復活雑誌

### 和雑誌

Kamipro  
Smart  
With  
WORLD SOCCER DIGEST  
週刊朝日  
航空ファン  
ダ・ヴィンチ  
バドミントン・マガジン  
ホテル旅館

### 洋雑誌

☆American Sociological Review  
☆Indonesian Quarterly Science

### 配置場所

和雑誌最新号 2階ブラウジングコーナー  
和雑誌バックナンバー 2階和雑誌コーナー  
洋雑誌 2階洋雑誌コーナー

# 新・前図書館事務室長からのメッセージ

## 未知との遭遇



図書館事務室長  
峰 日出人

私はこの4月から図書館勤務に着任し、新しい出会いに戸惑いと喜びを感じながら過ごしています。何かしら皆様にメッセージを送信できたらと思ひ苦慮していたときに、あなた

と同時代時に出会った作品の紹介をさせて頂くことで何らかの気持ちが伝わればと考え書いてみました。

みなさんは志賀直哉や川端康成の後を受けて日本ペンクラブの会長をした芹沢光治良という作家をご存知ですか？

彼は、もともと明治政府の役人として勉学のためパリに留学しますが、肺結核を患い療養生活の中で大きく方向転換し、作家への道を歩き始めます。多くの作品の中に『人間の運命』という彼の生い立ちをモチーフにしたであろう小説があります。タイトルからも想像がつくとは思いますが、作品の中に一貫して貫かれているテーマは、生きることへの飽くなき問いかけです。パリでの生活が長かったことが彼の作品のセンスの良さについて垣間見ることが出来ますが、凜とした生への強い意志を一貫して読み取ることが出来ます。作品を通して、私は衝撃を受けました。まさに、「未知との遭遇」だった訳です。

図書館には多くの作品が所蔵されています。皆さんも何かしらの遭遇を求めて図書館のドアを叩いてみませんか。

『人間の運命』（『新潮現代文学』6巻） 芹沢光治良  
4階NDC 918/Shi/6

## ある学生の大学での一日



前図書館事務室長  
甲斐 富美子

昔々、ある学生が入学してきました。当初から大学生活の拠点に図書館を活用した話です。

ある学生の一日の始まりは図書館からでした。毎朝同じ時間にやって来て館員に会うと挨拶をして2階の閲覧室へ向かいます。一時限目から講義があるときは、必要な資料だけを持って出かけ、講義が終わると図書館へ戻って机に向かいます。次の時間が空いている時は、図書館ですっと机に向かっていきます。昼食時間になると、学生食堂で済ませるのでしょうか、しばらくすると図書館へ戻ってきます。一日に一度は新聞を閲覧し、そしてまた机に向かいます。調べ物で資料が必要になるとカウンターへやってきて、閲覧票に記入し、職員に資料を出してもらいます。時には資料探しの質問や図書館のその日の予定などを聞いたりします。また時には職員が励ましの言葉をかけることもありました。毎日決まったように図書館に来て、夜の閉館時間まで過ごしていたこの学生は、やがて4年間で実をつけて巣立っていきました。

その後この学生はどうなったか・・・お教えしましょう。皆さんのそばで大学の教鞭をとっておられます。

ある学生の大学での過ごし方の話はいかがでしたか？

大学生活で講義時間以外に長く過ごす所と言えば大学図書館ではないでしょうか。

皆さんは1・2年生の間にできるだけ多くの単位を取得しなければなりません。そのためには講義の合間は、講義資料の準備やレポート作成などで図書館を活用しましょう。図書館を使いこなす技術を1年生の最初にしっかりマスターしておきましょう。

これからの大学生活の中、まずは図書館へ足を運んでみませんか。皆さんが自分の目標に向かって進んでいくために、図書館はできるだけお手伝いをします。

## 図書館 視聴覚資料

# 利用ランキング

2009.4~7調査

- |   |  |     |
|---|--|-----|
| 1 | パッチギ!  | 61件 |
| 2 | もののけ姫  | 33件 |
| 3 | ロード・オブ・ザ・リング：王の帰還                                  | 22件 |
| 4 | となりのトトロ  | 19件 |
| 5 | ダイハード／ダイハード3／パッチギ！LOVE&PEACE<br>／ロード・オブ・ザ・リング：二つの塔 | 18件 |

上位ランキング以外でも、『エヴァンゲリオン』『攻殻機動隊』がよく利用されています。これらはパッケージを配架していないので、カウンターに直接申し込んでください。

### ☆ 注意 ☆

- ・学生及び学外の方への図書館視聴覚資料の貸出はできません。
- ・AVコーナーでは、図書館資料以外（例えば持ち込み資料など）の利用はできません。学外の方は図書付属CDの視聴のみ利用となります。

### 視聴申し込み方法

- ① 見たい資料を選ぶ  
AVブースに置いてあるパッケージを選んでください。
- ② カウンターで手続きをする  
パッケージを持ってきて、申込用紙に記入してください。
- ③ 資料などを受け取る  
学生証と引き換えに、資料、ヘッドホン等を貸出します。
- ④ 視聴する  
視聴中の飲食は禁止です。マナーを守ってください。
- ⑤ 返却する  
ビデオテープは始めまで巻き戻して返却してください。

## 本学教員著書の紹介

# 『日本マックス・ウェーバー論争』



橋本努・矢野善郎・編  
ナカニシヤ出版 2008年  
ISBN:9784779502736

2階本学教員著書コーナー (331.5/ Ha)  
に配架しています。

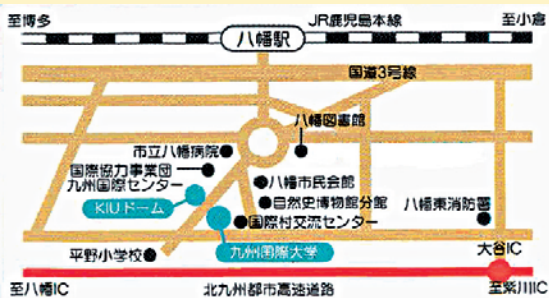
経済学部准教授 三笥 利幸

マックス・ヴェーバー（1864-1920）というドイツの思想家については、これまでもさまざまな領域で、繰り返しいろんな議論がなされてきました。すでにヴェーバーが生きている時代から、そうした論争はなされていて、ヴェーバーのもっとも有名な論文である『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』（1904-5年初版、1920年改訂版）も、発表当初から賛否両論が寄せられました。『倫理』は社会科学の「古典」という位置にあります。論争的な書という意味での「古典」といっていい側面をもっています。

さて、この『倫理』は日本の社会科学にも大きな影響を与えました。それがいかなるものであったのかは、この本の第9章で私が論じていますので、それを読んでください。ここでは、この本の成立の経緯と私の立場を書いておきたいと思います。

この本は、羽入辰郎の著書『マックス・ヴェーバーの犯罪』に、折原浩が徹底した批判を行ったというところに成立の端緒があります。羽入は、ヴェーバーは「知的誠実」を強く求めたにもかかわらず、『倫理』を十分な文献考証を経ずに執筆した、ヴェーバー自身が「知的」に「誠実」ではなく、その意味で「犯罪」を犯したと言いつのりました。それに対して、折原浩がこうした羽入の論難にみられる問題点を徹底して批判しました。本書の企画時には、折原の批判に対して羽入からの反批判は一切行われず、羽入へ折原が批判を行ったという状況があるのみでしたが、編者のひとりである橋本努が、私には理解できない論法でこれを「羽入-折原論争」と名付けました。私は、羽入からの反批判がない限り、形式的にも実質的にも「論争」になっていないため、この命名自体を誤りだと思っています（本書iiページにある「羽入-折原論争」を「論争」と呼ばない人もいます」という一節は私を指しています）。また、そもそも、羽入の議論は大仰に取り上げる価値などまったくありません。

ともかく、この本を読んでもらったら、あるいはこの本を読んでもらうためには、やはりヴェーバー自身の書いた『倫理』の理解が必要となってきます。『倫理』は、なかなか一人で読むのは難しい本ですが、本書をきっかけに、『倫理』を読んでもくれる人が一人でも増えればうれしく思います。



### 通常期

月～金 9:10～22:00

土 9:10～18:00

日・祝 休館

### 長期休暇中

月～金 9:10～16:30

土 9:10～16:00

日・祝 休館

### その他

変更する場合があります  
来館前にご確認ください



携帯からでも  
子エック!

北九州市八幡東区平野1-6-1  
TEL (093) 662-8305  
FAX (093) 662-8339

図書館報 Vol.23

2009年10月発行

編集発行

九州国際大学図書館